

特定施設構造等変更届出書

富山県知事
高岡市長

殿

届出者 住所
氏名
印
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

富山県公害防止条例第11条第1項の規定により、特定施設（騒音に係る特定施設を除く。）の構造（特定施設の使用の方法、ばい煙等（騒音を除く。）の処理の方法）の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の 名 称	(電話番号)	※ 市 町 村 受 理 日 年 月 日	年 月 日
工場又は事業場の 所 在 地	(郵便番号)	※ 受 理 年 月 日	年 月 日
公害防止のための 管 理 責 任 者 職 氏 名		※ 前 回 届 出 号 番	第 号
常 時 使 用 す る 従 業 員 数	人	※ 整 理 番 号	
特 定 施 設 の 種 類		※ 施 設 番 号	
△ 特 定 施 設 の 構 造	別紙のとおり	※ 備 考	
△ 特 定 施 設 使 用 の 方 法	別紙のとおり		
△ ばい煙等(騒音を除く。)の処理の方法	別紙のとおり		
変 更 予 定 年 月 日 及 び 変 更 の 理 由			
※ 市町村長の意見 又 は 審 査 結 果			

- 備考 1 ※印欄には、記載しないこと。
- 2 △印欄の「別紙」については、様式第1号の備考第2項の表の区分に応じた書類によること。
- 3 別紙の変更のある場合については、変更前及び変更後の内容を対照させて記載すること。
- 4 届出者が氏名を自署する場合は、押印を省略することができる。

別紙 1

ばい煙に係る特定施設の種類及び構造

ばい煙に係る特定施設の種類			
工場又は事業場における施設番号			
名称及び型式			
着手予定年 月 日 設 置		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年 月 日		年 月 日	年 月 日
規 模	バーナーの燃料の燃焼能力(重油換算 $\frac{\text{リットル}}{\text{時}}$)	最大 通常	最大 通常
	原料の処理能力(kg/時)		
	火格子面積又は羽口面断面積 (m^2)		
	変圧器の定格容量(KVA)		
	容 量 (m^3)		

- 備考 1 ばい煙に係る特定施設の種類の欄には、富山県公害防止条例施行規則別表第1の1に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 ばい煙に係る特定施設設置の届出にあっては着手予定年月日及び使用開始年月日予定月日を、使用届出にあっては設置年月日を記載すること。
- 3 規模の欄には、富山県公害防止条例施行規則別表第1の1の規模の欄に規定する項目について記載すること。

ばい煙に係る特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号			
使用状況	1日の使用時間及び 月使用日数等	時～時 時間／回 回／日 日／月	時～時 時間／回 回／日 日／月
	季節変動		
原材料(ばい煙の発生に影響のあるものに限る。)	種類		
	使用割合		
	原材料中の成分割合(%)	塩素分 弗素分	塩素分 弗素分
	1日の使用量(kg／日)		
使用圧力(kg／m ²)			
使用温度(℃)			
排出ガス量(N m ³ ／時)		最大 通常	最大 通常
排出ガス温度(℃)			
ばい煙の濃度	ばいじん(g／N m ³)	最大 通常	最大 通常
	塩素(ppm)	最大 通常	最大 通常
	塩化水素(ppm)	最大 通常	最大 通常
	弗素、弗化水素(mg／N 及び弗化珪素m ³)	最大 通常	最大 通常
参考事項			

備考 1 原材料中の成分割合(%)の欄に記載にあたっては、重量比(%)又は容量比(%)の別を明らかにすること。

2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

3 排出ガス量、排出ガス温度及びばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後のものとすること。

4 酸素吹込式の炉については、参考事項として、酸素吹込量、使用時間等を記載すること。

5 ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設については、参考事項の欄に時間別の排出量の変動の状況を記載すること。

ばい煙の処理の方法

ばい煙処理施設の工場又は事業場における施設番号					
ばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号					
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式					
着手予定置年 月 日			年 月 日	年 月 日	
使用開始予定年 月 日			年 月 日	年 月 日	
処理能力	排出ガス量 (N m ³ /時)	最大			
		通常			
	排出ガス温度 (℃)	処理前			
		処理後			
	ばい煙の濃度	ばいじん (g/N m ³)	処理前		
			処理後		
		塩素 (ppm)	処理前		
			処理後		
		塩化水素 (ppm)	処理前		
			処理後		
		弗素、弗化水素及び弗化珪素(mg/N m ³)	処理前		
			処理後		
	捕集効率%	ばいじん			
		塩素			
		塩化水素			
		弗素、弗化水素及び弗化珪素			
処理施設の使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等		時～時 時間/回 回/日 日/月	時～時 時間/回 回/日 日/月	
	季節変動				
処理に要する消耗資材	資材名				
	用途				
1日の使用量 (kg/日)					
排出速度 (m/秒)					

備考 1 ばい煙に係る特定施設設置の届出にあつては着手予定年月日及び使用開始年月日予定月日を、使用届出にあつては設置年月日を記載すること。

2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

粉じん又は有害ガスに係る特定施設の種類、構造及び使用の方法

粉じん又は有害ガスに係る特定施設の種類				
特定施設の工場又は事業場における施設番号				
基 数				
名 称 及 び 型 式				
規 模 ・ 能 力				
着手予定年 月 日 設 置			年 月 日	年 月 日
使用開始予定年 月 日			年 月 日	年 月 日
使用 の 方 法	原 材 料	種 類		
		使 用 割 合		
		1日の使用量 (kg/日)		
	使 用 温 度 (℃)			
	使 用 圧 力 (kg/m ³)			
	1 日 の 使 用 時 間 及 び 月 使 用 日 数 等		時～ 時 時間/回 回/日 日/月	時～ 時 時間/回 回/日 日/月
	製 品 回 収 率 (%)			
参 事	考 項			

- 備考 1 粉じん又は有害ガスに係る特定施設の種類欄には、富山県公害防止条例施行規則別表第1の2に掲げる項番号及び(1)、(2)等の細分があるときはその番号並びに名称を記載すること。
- 2 粉じん又は有害ガスに係る特定施設設置の届出にあつては着手予定年月日を、粉じん又は有害ガスに係る特定施設使用の届出にあつては設置年月日を記載すること。
- 3 粉じん又は有害ガスに係る特定施設設置の届出にあつては着手予定年月日を、使用開始予定年月日を記載する必要はないこと。

粉じん又は有害ガスの処理の方法

使用又は発生する粉じん又は有害ガスの種類				
処理施設の工場又は事業場における施設番号				
処理施設の名称及び型式				
着手予定置年月日			年月日	年月日
使用開始予定年月日			年月日	年月日
処理能力	排気型式		自然・押込・誘引	自然・押込・誘引
	風量 (m ³ /分)			
処理に要する消耗資材	資材名			
	用途			
	1日の使用量			
処理効果	粉じん又は有害ガスの濃度	測定方法		
		処理前	ppm mg/N m ³	ppm mg/N m ³
		処理後	ppm mg/N m ³	ppm mg/N m ³
		捕集効率		
	排出ガス温度	処理前 (℃)		
		処理後 (℃)		
排出ガス量 (Nm ³ /時)		最大		
		通常		
排出速度 (m/秒)				
参考事項				

備考 1 粉じん又は有害ガスに係る特定施設設置の届出にあつては着手予定年月日を、粉じん又は有害ガスに係る特定施設使用の届出にあつては設置年月日を記載すること。

2 粉じん又は有害ガスに係る特定施設設置の届出にあつては着手予定年月日を、使用開始予定年月日を記載する必要はないこと。

汚水又は廃液に係る特定施設の種類及び構造

汚水又は廃液に係る 特定施設の種類			
工場又は事業場 における施設番号			
基 数			
名 称 及 び 型 式			
規 模 ・ 能 力			
着 手 予 定 年 月 設 置 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定 年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
参 考 事 項			

- 備考 1 汚水又は廃液に係る特定施設の種類の欄には、富山県公害防止条例施行規則別表第1の3に掲げる項番号及び(1)、(2)等の細分があるときはその番号並びに名称を記載すること。
- 2 汚水又は廃液に係る特定施設設置の届出にあっては着手予定年月日を、汚水又は廃液に係る特定施設使用の届出にあっては設置年月日を記載すること。
- 3 汚水又は廃液に係る特定施設の使用届出にあっては、使用開始予定年月日を記載する必要はないこと。
- 4 水質関係有害物質使用特定施設にあっては、参考事項の欄にその旨を記載すること。

汚水又は廃液に係る特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号					
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	時～時 時間／回 回／日 日／月	時～時 時間／回 回／日 日／月	時～時 時間／回 回／日 日／月	
	季節変動				
原材料	種類				
	1日の使用量 (kg／日)				
	使用方法				
製品又は中間製品の取出しに際しての廃液の分離方法					
		通常	最大	通常	最大
使用水量 (m ³ ／日)					
排水量 (m ³ ／日)					
水質					

排水口(浸透口)ごとの水量、放流先(浸透先)及び水質	排水口 (浸透口)	排水量 (m ³ ／日)	放流先 (浸透口)	水質			

備考 特定地下浸透水については、()で記載すること。

汚水又は廃液の処理の方法

処 理 施 設 の 工 場 又 は 事 業 場 に お け る 施 設 番 号				
処 理 に 係 る 汚 水 又 は 廃 液 に 係 る 特 定 施 設 の 工 場 又 は 事 業 場 に お け る 施 設 番 号				
処 理 施 設 の 種 類 ・ 名 称 ・ 型 式				
着 手 予 定 年 月 日 設 置		年 月 日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定 年 月 日		年 月 日	年 月 日	年 月 日
処 施 理 施 設 の 構 造 等	規 模			
	能 力			
	処 理 の 方 式			
処 施 理 施 設 の 使 用 状 況	1 日 の 使 用 時 間 及 び 月 使 用 日 数 等	時～ 時 時間／回 回／日 日／月	時～ 時 時間／回 回／日 日／月	時～ 時 時間／回 回／日 日／月
	季 節 変 動			
処 理 に 要 す る 消 耗 資 材	資 材 名			
	用 途			
	1 日 の 使 用 量			

		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
排 水 量 (m³) ／ 日													
水 質													
排 出 先													
残 さ	種 類												
	生 成 量												
	処 理 方 法 の 概 要												

- 備考 1 汚水又は廃液に係る特定施設設置の届出にあつては着手予定年月日を、汚水又は廃液に係る特定施設使用の届出にあつては設置年月日を記載すること。
- 2 汚水又は廃液に係る特定施設の使用届出にあつては、使用開始予定年月日を記載する必要はないこと。

悪臭に係る特定施設の種類、構造、使用の方法及び処理の方法

悪臭に係る特定施設の種類の種類				番号		名称		番号		名称	
構造	名称及び型式										
	規模（面積）										
	着手予定年月日			年 月 日				年 月 日			
	使用開始予定年月日			年 月 日				年 月 日			
使用の方法	原料の種類及び使用量（貯蔵種類及び貯蔵量）										
	製品名及び製造量										
処理の方法	建屋の構造										
	集気の方法										
	処理施設の型式										
	発生 の 予測 さ れる 悪臭 の 種類等	排ガス温 度(℃)	処理前								
			処理後								
			処理前								
			処理後								
			処理前								
			処理後								
			処理前								
			処理後								
	排出口の高さ(m)										
備考	動物の種類 及び飼養数	種類									
		頭(羽)数									

- 備考 1 悪臭に係る特定施設の種類の欄には、富山県公害防止条例施行規則別表第1の5に掲げる項番号及び(1)、(2)等の細分があるときはその番号並びに名称を記載すること。
- 2 悪臭に係る特定施設設置の届出にあっては着手予定年月日を、悪臭に係る特定施設使用の届出にあっては設置年月日を記載すること。
- 3 悪臭に係る特定施設の使用届出にあっては、使用開始予定年月日を記載する必要はないこと。
- 4 悪臭の処理の方法の発生予測される悪臭の種類等の欄には、該当する悪臭の種類を空欄に記載し、処理前後における状況を、できる限り具体的に記載すること。